



千地申  
第5号

## 「ライフサイクルの深度化」に関する 申し入れ 団体交渉を行う！

「ライフサイクルの深度化」制度は2008年から実施され、多くの「運輸のプロ」が運車職場や駅職場で活躍しています。しかし、「運輸のプロ」を創るという主旨が徹底されていないとの意見や、運転士への復帰後に全く異なる線区へ異動となるなど、「ライフサイクルの深度化」制度を担うことに対する多くの不安が寄せられています。

地本は、覚書および議事録確認を遵守し、「ライフサイクルの深度化」を組合員が安心して担える制度とするため、団体交渉を行いました！

### ◆覚書遵守、原則3年での元職場への復帰、本人希望尊重について

- (組合) 「覚書」を遵守し、原則3年で元職場に復帰させること。
- (会社) 「覚書」を遵守し、原則3年で希望を聞いて元職場に復帰させる。  
本人希望で駅に1年残るとなれば丁寧に聞く。
- (組合) 希望を聞く際、駅の管理者から無理な懇請は行わないこと。
- (会社) 「残ってほしい」と懇請はするが、最後に決めるのは本人であり、無理な懇請は行わない。面談を尊重している。

覚書の遵守  
原則3年  
本人希望尊重  
を確認！

駅の延長は本人の判断  
であることを確認！

### ◆ライフ復帰後運転士の、他線区への希望していない異動について

- (組合) 去年も今年も、ライフ復帰者の希望していない異動が発生し、職場が混乱している。
- (会社) 異動により経験者が色々な職場でアドバイスしてほしいと考える。
- (組合) 指導員から、異動者と運転士見習いの教育が重複して厳しいという声もある。  
今回も前回も、ライフ復帰者に照準を合わせたような異動で「次は自分の番か」となっている。モチベーションが下がっている社員のフォローも見えない。
- (会社) 管理者とのコミュニケーションによる不安解消が大切。再度職場に伝える。
- (組合) 「線区のプロ」の視点で、安全とサービスレベルの向上を担うべき。
- (会社) 「線区のプロ」の考えはない。新たな職場で色々伝えた方が厚みが出る。
- (組合) この異動は「制度化していない」という認識でよいか。
- (会社) 制度化していない。

異動に対する  
認識が対立！

モチベーションの低下を  
フォローすることを確認！

ライフ復帰後運転士の異動は「制度ではなく、  
制度化するつもりもない」ことを確認！

### ◆家庭環境への配慮等

- (組合) 育児・介護をしながら働く社員が1から学んで見極め、となると仕事環境も変わり相当な労力となる。希望を把握して配慮すべき。
- (会社) 面談等で希望把握していく。各々の事情を聞きながら配慮して対応する。
- (組合) この制度以外についても、覚書や労働協約に則り真摯に議論しながら進めること。
- (会社) これまで通り、協約に則って議論していく。

育児介護への  
配慮を確認！

12月の異動について、組合は「ライフサイクル運転士復帰者に対する本人希望を無視した人事」、会社は「通常の人事」として認識が合わず対立！ 悔しい思いをした組合員の声をもとに、引き続き問題意識を発信します！